



モバイルアイアンMDM

セキュアな企業モバイル環境を実現

A stack of various mobile devices, including smartphones and tablets, shown in a perspective view. The devices are of different colors and models, representing a multi-OS environment.

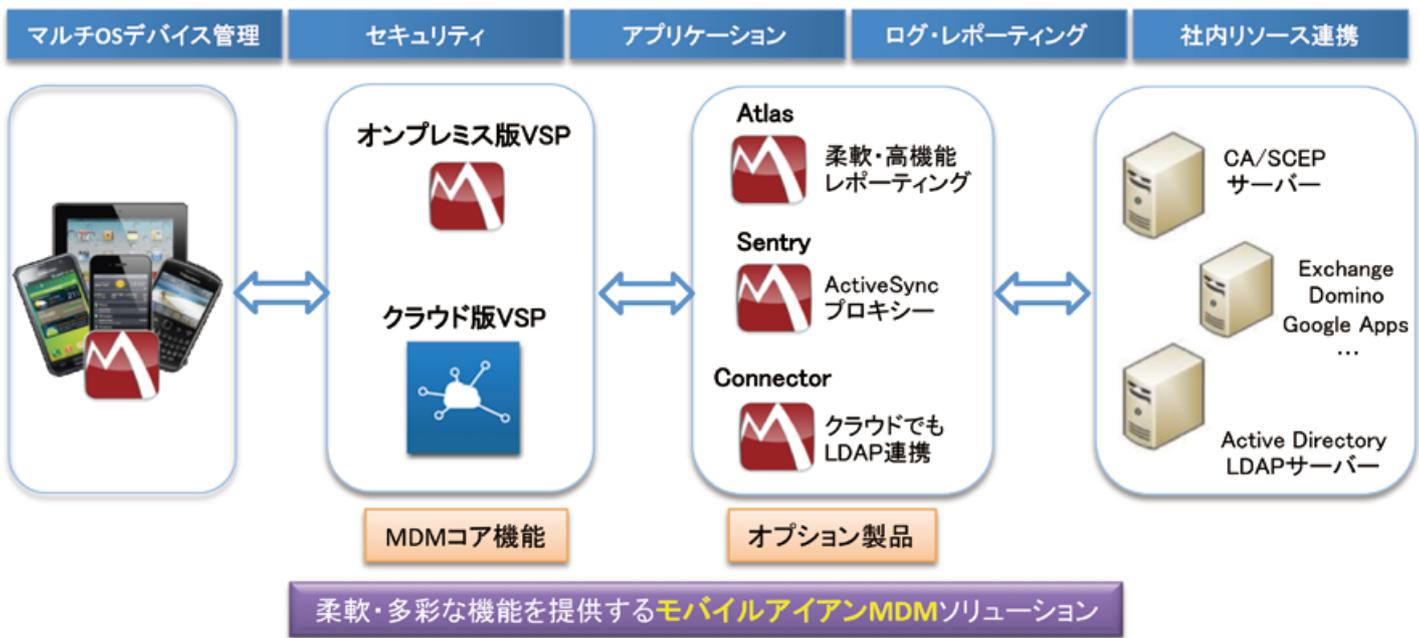
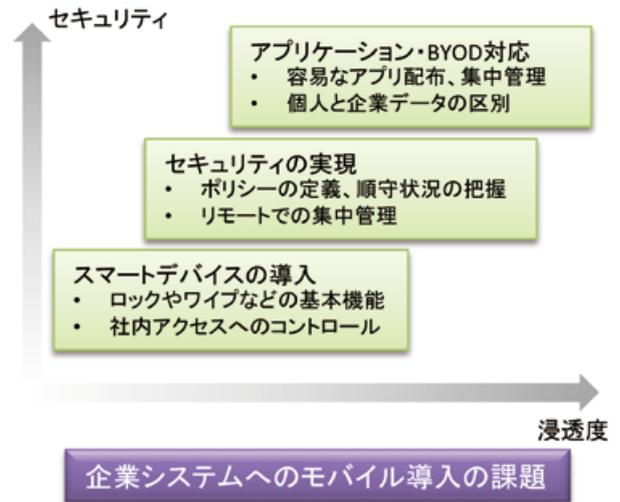
スマートフォンやパッド・タブレット等のモバイルデバイスは、ビジネスシーンにおける重要なツールとしての利用が進んでいます。モバイルアイアンVSPは、iOSやアンドロイドを含むマルチOSに対応したモバイルデバイス管理=MDM (Mobile Device Management) をセキュアに実現する真のMDMソリューションです。

マルチOS対応の次世代モバイルデバイス管理ソリューション

企業におけるモバイルの導入では、IT管理者には様々な観点から策定したセキュリティの実現と、スマートデバイスの豊富な機能を活かした活用の両立が求められます。

紛失や盗難対策として、ロックやワイプ、位置情報の取得といった基本的な情報の取得、社内リソースへ接続するためのWi-FiやVPNの管理・配布。セキュリティポリシーの定義や適用状況の取得、グループ単位での管理や大量のスマートデバイスを効率的に管理するための機能が要求されます。また同時に変化が非常に激しいモバイル業界に対する迅速な対応や、業務を効率化するアプリケーションの配布や管理も求められます。更に将来的にはユーザー持ち込みのスマートデバイスへの対応(BYOD)も視野に入れ、モバイル環境を構築する必要があります。

一般的には両立が難しいセキュリティとスマートデバイスの活用を両立する次世代モバイルデバイス管理(MDM)ソリューション、それが**モバイルアイアンMDM**です。



マルチOSプラットフォーム対応

モバイルアイアンは会社設立当初からマルチOS対応を念頭に製品を設計。変化が激しいモバイル市場を見据え、企業の将来を見据えたモバイル導入をサポート。

クラウドサービスも提供

オンプレミス版に加え、クラウドサービスも提供。導入コストやメンテナンス費用を削減し、低コストで展開する事が可能。さらに、オンプレミス版とクラウド版VSPをAtlasで統合管理も可能。

デバイス管理・セキュリティ、自動運用

紛失盗難時の対策のみならず、ジェイルブレイク等の重大なセキュリティ問題に対応し、自動的にアクションを実行することが可能。

多彩な機能

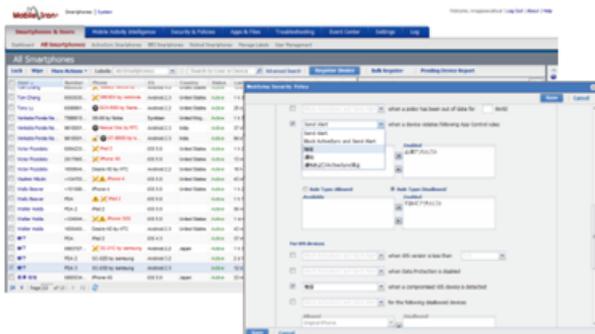
セキュリティ対策以外にも活用の幅を広げる多彩な機能を提供。アプリケーション管理、デバイス証明書の自動発行、社内リソースとの連携なども自在。

モバイルアイアン社について

モバイルアイアン社は2007年に米国シリコンバレーにてセコイアキャピタル等、一流のベンチャーキャピタルからの資本参加を得て設立された会社です。設立当初からMDM専門ベンダーとして製品出荷当初から大きな注目を浴びグローバルで着実に顧客を獲得しています。現在では全ての業種で多くの顧客を抱え、更には各国の大手通信キャリアや150を超えるITベンダーとパートナー関係にあります。

セキュアなモバイルデバイス管理を実現する先進的な機能群

マルチOSを一元管理



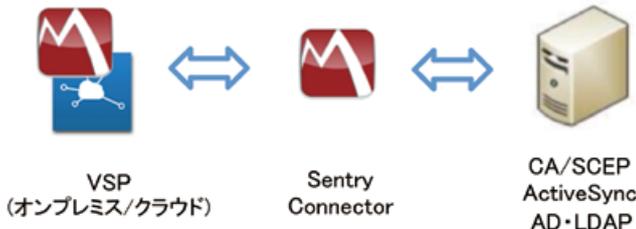
iOS・Androidに加え、Windows PhoneやBlackBerryなど多様なモバイルOSを一元管理できます。セキュリティポリシー違反のデバイスやアプリケーションの配布状況などを簡単に把握できます。単一の設定画面でマルチOSに対応し、ユーザーやグループ毎に管理も容易です。さらに、変化が激しいモバイル市場に迅速に対応するため、全てのオンプレミス製品はワンクリックでバージョンアップができます。

ログ・レポートング



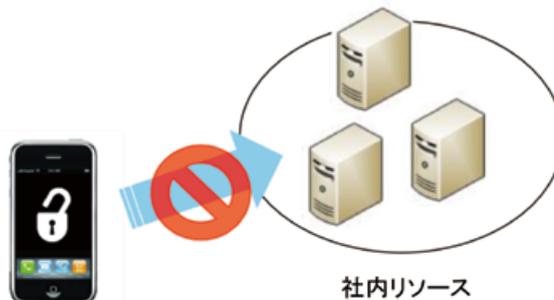
管理下のモバイル端末の統計情報やポリシーの順守状況をグラフィカルに確認できます。さらに、柔軟で高機能なレポートング機能を提供するAtlasの導入により、レポートのカスタマイズやCSVファイルへの出力が可能です。またWebサービスAPIを搭載しており、バッチ処理で独自のレポートを作成するアプリケーション開発も可能です。

社内リソース連携



VSP(オンプレミス・クラウド)は、既存の社内リソースとの連携も可能です。クラウドではConnectorと組み合わせることで、社内のActive Directoryとの連携機能が提供され、ユーザー・グループ情報をVSP上でも利用できます。また、SentryによりActiveSyncサーバーのDMZ上での公開を廃止でき、更にはセキュリティポリシーとActiveSyncサービスの高度な連携機能が提供されます。

セキュリティポリシーの制御・自動運用



モバイル端末の様々な状況に応じたセキュリティポリシーが設定可能です。許可されていないアプリケーションがインストールされた場合や、端末のジェイルブレイク・Root化を検知した際には、ユーザー・管理者に通知や、社内リソースへのアクセスを禁止できます。さらにこれらの処理を自動化できるため、運用後の管理工数を大幅に削減可能です。

アプリケーション管理



社内開発・公式ストア上のアプリケーションを統合し、企業独自のアプリケーションストアを展開することで、ユーザー・グループ毎に配布したいアプリケーションを管理できます。ユーザーは簡単に目的のアプリケーションを簡単にインストールできます。また、端末上で利用できるアプリケーションを、許可・不許可・必須の3種類のリストで管理でき、許可されていないアプリケーションを検知した場合、ユーザー・管理者への通知、社内リソースへのアクセス制限の自動処理が可能です。

企業向けアプリケーション開発ライブラリ



企業独自のアプリケーション開発を行うお客様向けに、VSPとの連携機能を提供するAppConnectライブラリを提供。アプリケーション側での使用ユーザーの識別、配布後にVSP側でアプリケーションが利用する構成情報の変更・削除、社内ネットワークへのアクセス制御などの処理が実現。例えば、人事異動等によりユーザーに必要なアプリケーションや、その接続ホストを変更するといったリモート制御で活用できます。

お客様の成功事例とモバイルアイアンを選択した理由

IT管理者の課題

1. 端末1台ごとの正確で詳細な把握と管理
 - 基本的な要件であるマルチOSのサポートを始め、ディレクトリ情報などの社内システムと連携させ、ユーザー管理を効率化したい。また、国や地域単位でクラウド、オンプレミスどちらでも導入でき、全体で数万規模のユーザーを本社で一括管理したい。
2. セキュリティポリシーの柔軟な適用
 - 認証されていない端末のアクセスを制限し、改善した場合には速やかに復帰、それら一連の運用を自動的したい。
 - あくまで利用者の利便性を確保しつつ、しかしセキュリティレベルは落とさず管理したい。

ビジネス上の期待値

1. モバイル環境による生産性の向上
 - 社内と同じ環境をいつでも、どこでも利用できる環境を手に入れ、仕事の進め方を変革し、生産性を向上させたい。
2. 多様な端末、持ち込み端末(BYOD)への対応
 - 日々リリースされる最適で最新のOSやその機能、アプリケーション、最新デバイスを利用できるようにしたい。
 - 個人端末を持ち込んだ場合でも、端末に蓄積されている企業情報(メールや顧客情報)と個人情報の区別したセキュリティポリシーを実現したい。



モバイルアイアン
MDMが
相反する
課題を解決

お客様のビジネスの成功

① 他MDM製品からの切替え事例

“以前のMDMはポリシー違反のユーザーを検知した後も、管理者がモニターにはりついていなければならず、とても非効率でした。モバイルアイアンの自動化されたポリシーのおかげで、今後数100台に拡張する際も、効率的な管理ができます” 国内大手総合電気メーカー様

“30社以上のMDMを比較検討、うち3社を検証しました。モバイルアイアンはまず管理画面が直感的です。さらに、ラベルという概念によるユーザーグループごとにポリシーが適用できるアーキテクチャが運用の効率を大幅に高めてくれそうです。” 国内大手製造業様

② 綿密な検証の末、ご採用いただいた事例

MDMに求められる機能の全体フレームワーク



なぜモバイルアイアンか？

1. MDMフレームワーク全体を網羅

基本的な要件であるマルチOSのサポートを始め、ディレクトリ情報などの社内システムとの連携によるユーザー管理の効率化が可能です。また、国や地域単位でクラウド、オンプレミスどちらの導入もサポート、全体で数万規模のユーザーを本社で一括管理も可能です。
2. 各機能領域における成熟度と対応スピード

モバイル環境は日々変化しています。新しいバージョンへの速やかな対応はもとより、ジェイルブレイクを検知し、違反したユーザーのアクセスを制限、改善した際の再接続の許可まで一環したセキュリティポリシーの自動運用や、アプリケーション管理の機能も充実しています。
3. 戦略パートナーの緊密な連携

企業IT部門の管理領域は広く、アプリケーション、ソフトウェアからハードウェア基盤まで様々です。モバイルアイアンは、Apple、Google、Samsung、Ciscoを始めとした主要ベンダーとの戦略パートナーを構築していますので、これによりユーザー企業に先進のソリューションを提供可能です。

開発元



モバイルアイアン・ジャパン

〒107-0052 東京都港区赤坂4-1-1 SHIMA 赤坂ビル
TEL : 03-6234-4962
Email : apj@mobileiron.com

発売元



本社 〒152-0023 東京都目黒区八雲2-23-13 Tel. 03-5731-5551 Fax. 03-5731-5552
西日本支社 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-5 Tel. 06-4809-5544 Fax. 06-4809-5547

- 本製品に関するお問い合わせ： MobileIron チーム
- メールでのお問い合わせ： network@nox.co.jp